

市内の中学生 590 人が一斉に職場体験

中学生キャリアウイークを 9 月 9 日から 13 日まで実施

市教育委員会は、9 月 9 日から 13 日まで中学生キャリアウイークを実施しました。

これは、市内全中学校 6 校の 2 年生全員が、公共機関や医療施設、製造工場、保育所など市内を中心とした事業所で仕事を体験することで、将来の進路選びや目標づくりに役立ててもらおうと行われたもの。

また、地域の事業所で仕事を体験することで、地域の産業の魅力や良さに気づいてもらい、地域に貢献できる生徒を育てるねらいもあります。

美容学校で美容師を体験

柳南中学校と大和中学校、三橋中学校の生徒 13 人は、ハリウッドワールド美容専門学校（柳河）で美容師の仕事を体験しました。同校の専門学校生が講師になり、パーマやシャンプーなどの実習をしたり、専門学校生が行う髪のカットやメイクの実演を見たりしました。

メイク実習では、直線型や曲線型など、自分のタイプに合ったメイクを決め、生徒同士で化粧を合っていました。体験した生徒は「楽しかった。美容の仕事をしてみたい」などと語り、指導した同専門学校 2 年の田中佑弥さんは「今の気持ちを忘れず、美容の仕事が好き



専門学校生によるメイク実習



毎朝デッキブラシなどを使ってドンコ舟を清掃

になってもらいたい」と話しました。

川下り会社で船頭を体験

柳南中学校と蒲池中学校の生徒 5 人は、川下り会社の 1 つ、水郷柳川観光（下百町）で、観光客の受付や案内、船頭の仕事などを体験。ドンコ舟の掃除をしたり、舟に乗って船頭さんのガイドを聴きながら柳川のことを勉強したりしました。また、ドンコ舟に乗って船頭も体験。なかなか真っ直ぐ進まず、さおさしの難しさを実感し、あらためてプロの船頭の技に関心していました。

体験した生徒は「舟掃除はきつかったけど、柳川のことが分かってよかった」などと話し、船頭の梅崎義郎さんは「地元らしい仕事を体験して、もっと柳川が好きになってほしい。また、一生懸命お客さんを案内すると、お客さんから喜ばれることも体験してほしい」と期待を寄せました。

みなさんご長寿おめでとうございます

金子市長が市内最高齢者の河口さん（106 歳）などを訪問

9 月 16 日の敬老の日を前に、9 月 15 日、金子市長は市内最高齢で 106 歳の河口アサノさんと、来年 3 月末までに 100 歳になる 9 人の高齢者を訪問して長寿を祝いました。市内の 100 歳以上は 63 人。このうち、今年度中に 100 歳になる人は 25 人です。

市内最高齢の河口さんは、明治 39 年 10 月 20 日生まれ。農業にいそしみながら 9 人の子どもを育てました。現在は、徳益の有料老人ホームさくらんぼに入所。二男の正芳さん（みやま市）によると、若いころから働きもので、病気もしたことがなく、施設では自分か

ら洗濯物を畳むなどの手伝いをしているそうです。正芳さんは「食事に好き嫌いがいいことが健康につながっているのでは」と話しました。

現在も自宅で暮らす黒田サミさん（棚町）は、大正 3 年生まれの 99 歳。来年 2 月に 100 歳を迎えます。夫を若くして戦争で亡くし、女手ひとつで 4 人の子どもを育て上げました。毎日 3 食の食事をしっかり食べる黒田さんは、魚の煮つけが好物。「デイサービスで友達に会うのが何よりの楽しみ。東京オリンピックまで長生きしないと」と黒田さんは元気に話しました。

市内各地で敬老会が開催

9 月は市内各地で敬老会が多く開催されました。9 月 15 日に行われた有明校区の敬老会には、校区内の 75 歳以上の住民、116 人が参加。敬老会では、主催者を代表して実行委員会の野田廣行会長が、「経験を生かして若者に知恵を貸してほしい」とあいさつしました。その後、有明小学校の児童から、花束が贈られた他、雲龍型の土俵入りが元気に披露。参加者は、「この日を首を長くして待っていました。楽しませてもらっています」と笑顔を見せました。



子や孫、ひ孫に祝福される河口アサノさん（中央）



自宅で暮らし、来年 100 歳を迎える黒田サミさん（左）



児童から花束を受ける西田利光さん（左）と田中キミエさん

下水道に油や野菜くずを流さないで

9 月 10 日の「下水道の日」に西鉄柳川駅で PR

市は 9 月 10 日の「下水道の日」に、下水道への理解や関心を高め普及を進めようと、西鉄柳川駅で PR を行いました。この日は、観光柳川キャンペーンレディ水の精や市職員などが、チラシやエコスポンジ 300 セットを配布。正しい下水道利用を呼びかけました。現在、市の下水道の利用区域は 330ha。そこで出された汚水は下水道管を流れて柳川浄化センターで処理され、きれいな水となって、上流の掘割に流されています。

排水設備の早期工事にご協力

下水道を利用できる区域（供用開始区域）に住んでいる人は、「受益者負担金」と「排水設備工事」が必要です。

下水道が利用できるようになってから、くみとり式のトイレを使用している家庭は 3 年以内に、合併処理浄化槽を使用している家庭は遅れることなく下水道へ接

続するよう、法律で義務付けられています。まだ接続していない家庭は、できる限り早く接続をお願いします。

問い合わせは、市下水道課（☎ 77・8585）まで。



西鉄柳川駅構内で駅の利用者にチラシやエコスポンジを配布

10月1日は浄化槽の日

浄化槽の点検や清掃を忘れずに

10月1日は浄化槽の日です。浄化槽は、微生物の働きを利用して汚水を処理するので、維持管理がとても大切。定期的な保守点検や清掃、法定検査が義務付けられています。水や洗剤は適正量を使い、トイレトベーパー以外の異物や油、野菜くずは流さないようにしましょう。また、浄化槽の電源は切らないでください。

- 保守点検 機械の点検・調整・補修や消毒薬の補給などを行います。専門的な知識や器具が必要ですので、県の登録業者に委託してください。
- 清掃 浄化槽内にたまった汚泥などを抜き取ります。市が認可した業者に委託してください。
- 法定検査 1年に1回、県の指定検査機関の法定検査を受けなければなりません。浄化槽が正しく維持管理され、機能しているかを、保守点検や清掃の状況などから検査します。

問い合わせは、市生活環境課浄化槽推進係（☎ 77・8483）まで。

